

西洋建築史 (History of Western Architecture)						
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当	
土木建築	必修	2年前	1	講義	中川 明子	
【授業の概要】 建築技術者として必要とされる常識を養うことを目的とする。 建築の工法、構造の変化に伴う建築の変遷を理解する。						
【授業の進め方】 視覚的理解を助けるため、代表事例などはプロジェクターでの投影を行う。視聴覚教材も利用する。授業内容を理解するために、予習復習のための学習ノートを活用する。その提出は期限を決めて行う。						
【授業の概要】	【授業項目】	【内 容】				
1回	西洋建築史ガイダンス	西洋建築史を学ぶ意義、建築の発生と発達の原因についての説明。建築史、都市史変遷の概要の説明。学習ノート使用法のガイダンス。				
2回	古代の建築1：古代オリエント建築・古代エジプト建築1	古代オリエント建築・古代エジプト建築について。その工法、時代背景の説明。				
3回	古代の建築2：ギリシア建築	古代ギリシア建築、都市計画、その工法、時代背景の説明。				
4回	古代の建築3：ローマ建築	古代ローマ建築、都市計画、社会基盤整備、その工法、時代背景の説明。				
5回	中世の建築1：古代末期・中世初期の建築、ビザンツ建築	初期キリスト教時代建築・ビザンツ建築の紹介。その時代背景の説明。				
6回	中世の建築2：ロマネスク建築	ロマネスク建築の紹介。その時代背景の説明。様式、構造変遷の説明。				
7回	中世の建築3：ゴシック建築	ゴシック建築の紹介。構造変遷、彫刻についての説明。その時代背景、状況の説明。				
8回	中間試験	古代から中世までの西洋建築史について問う。				
9回	近世の建築1：ルネサンス建築1	イタリア・ルネサンス建築の代表的建築物、建築家の紹介。その時代背景、状況の説明。				
10回	近世の建築2：ルネサンス建築2	フランス・ルネサンス建築、ヨーロッパ各国のルネサンス建築の代表的建築物、建築家の紹介。その時代背景、状況の説明。				
11回	近世の建築3：バロック建築1	イタリア・バロック、フランス・バロック建築の代表的建築物、街区計画、建築家の紹介。その時代背景、状況の説明。				
12回	近世の建築4：バロック建築2	イギリス・バロック建築の代表的建築物、街区計画、ロココの代表的建築物、その他、ヨーロッパ諸国に於けるバロック建築について建築家の紹介。その時代背景、状況の説明。				
13回	近世の建築5：新古典主義建築	新古典主義建築の代表的建築物、建築家の紹介。その時代背景、各国の状況の説明。				
14回	近世の建築6：歴史主義建築	歴史主義建築の代表的建築物、建築家の紹介。その時代背景、各国の状況の説明。				
	期末試験	近世における西洋建築史について問う。				
15回	解答返却など	答案返却、解説、前期の復習。				
【到達目標】	1. 建築様式、都市の変遷と代表的建築様式の特徴を理解する。 2. 歴史的に重要な建築家や思想家についての知識を深める。 3. 「世界に通用する」技術者を目指す者として、西洋の建築文化への理解を深め、近代建築成立への理解へ一助とすると共に、世界各国の建築文化を自ら学ぶ姿勢を養う。					
【徳山高専学習・教育目標】	A2		【JABEE基準】			
【評価法】	前期中間試験 45%、前期末試験 45%、学習ノート 10% の配分で評価する。					
【テキスト】	西田雅嗣他、「建築の歴史；西洋・日本・近代」、学芸出版社、2003年					
【関連科目】	歴史(1年)、建築デザイン概論(1年)、建築計画(3年)、都市計画(4年)、近代建築史(5年)、日本建築史(5年)					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】